

## 国立大学法人島根大学物品・役務等契約監視委員会(第12回)議事概要

開催日及び場所	令和4年7月21日(木) 国立大学法人島根大学 本部棟1階第一会議室	
出席委員	○委員長 千家 充伸 (国立大学法人島根大学 監事) ○委員 中野 俊雄 (島根県行政書士会理事・総務部長 行政書士) 山根 朋洋 (公認会計士)	
審査対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日	
個別審査案件	6 件	○議 事 1. 個別審査案件の抽出結果について(監査室報告) 2. 個別審査案件の審査について 3. その他 (1) 指名停止等について(令和3年度該当なし) (2) 「本学職員の懲戒処分について」に係る再発防止等の取組について(経理・調達課説明) (3) 「役務請負契約基準」新設への取組状況について(経理・調達課説明) (4) 他機関での「医薬品卸談合の疑い」に関する本学の対応について(医学部会計課説明)
一般競争入札	5 件	
最低価格方式	4 件	
総合評価方式	1 件	
指名競争入札	件	
最低価格方式	件	
総合評価方式	件	
随意契約	1 件	
企画競争	件	
公募	件	
競争性のない随意契約	1 件	
不落随意契約	件	
委員からの意見・質問とそれに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	指摘すべき重大な事項は認められない。 なお、その他の意見については別紙「7)その他」のとおり。	

質問・意見	回答
<p><b>1) ACS Web Editions All Pubs Package の利用 一式</b>  <b>【一般競争入札（最低価格方式）】</b>  <b>（図書情報課）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競争参加資格（3）「調達対象となる電子ジャーナル等の利用にかかる役務の提供ができることを証明する書類」とは第三者による証明書か。</li> <li>・入札経過にある「本体価格」とは、ACS が設定し公開している原価なのか。</li> <li>・契約業者の手数料が少ないように感じるが、本体分のうち ACS から契約業者に別途料金が支払われることになっているのか。</li> <li>・本件は化学分野の電子ジャーナルだが、他分野と比べて価格の違いはあるか。</li> <li>・毎年契約しているのか。前回の契約業者も同じか。</li> <li>・取扱いが可能でありながら応札しなかったと思われる業者はどれぐらいあるか。</li> <li>・契約業者は具体的にどのような役割を担うのか。利幅については契約業者が契約中に行う作業の多寡にもよると思われるが、どのようになっているか。</li> <li>・同じ地域に販売代理店が複数あるのはなぜか。</li> <li>・予定価格の算定において、為替レートとして何を用いているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・版元である American Chemical Society (ACS) 発行の証明書、委任状、技術仕様書及び一般競争参加資格等確認申請書を指す。</li> <li>・ACS が示した価格である。利用する機関の規模（利用者数）により異なる。</li> <li>・その点については確認できない。</li> <li>・医学系や化学では他分野より高い傾向にある。</li> <li>・2019 年以降は契約していなかった。前回の契約業者も同じである。</li> <li>・入札について落札業者以外には 2 社に知らせたが、うち 1 社は本件の利幅が少ないためか、応札につながらなかった。</li> <li>・設定の代行や不具合発生時の解決等の作業がある。</li> <li>・商品が紙媒体のみであった時代に、複数の代理店があった名残と思われる。</li> <li>・T T S である。</li> </ul>

<p><b>2) 島根大学（川津・大輪・北陵）昇降機設備保全業務</b></p> <p style="text-align: center;"><b>【一般競争入札（最低価格方式）】</b> (施設企画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立系保守業者（メーカーに属さない保守業者）によるエレベーター保全業務の実施について、特に支障ないか。</li> <li>・予定価格に対して、落札業者の入札金額がかなり低い、他の入札業者はどうであったか。</li> <li>・前回の契約業者と契約期間はどうか。</li> <li>・資料の「入札経過」欄にある「企業努力」とは、価格の構成要素のうち具体的に何に関するものか。</li> <li>・保守点検の結果、修理が必要と判断された場合の費用負担及び契約方式はどのようになっているのか。</li> <li>・落札業者の入札金額は予定価格に対してかなり低い、この差が生じたのはなぜか。</li> <li>・各月の保守点検を行うにあたって、来学に要する費用は契約金額に含まれているか。また、作業員の対応状況はどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務に係るエレベーターの保守点検が可能であり、修理が必要となる場合も、部品供給等に支障がないことを確認している。</li> <li>・本入札において、エレベーターのメーカー及び独立系保守業者が参加しており、独立系保守業者の入札金額が特に低い結果となった。</li> <li>・前回の契約業者は今回の落札業者と別の独立系保守業者であり、契約期間は前回と同様の3年間である。</li> <li>・人件費面での企業努力である。</li> <li>・修理の費用は本学が負担し、本業務の契約業者と随意契約を行い対応するものである。</li> <li>・前回の契約金額の影響及び新たな独立系保守業者による入札参加のためである。</li> <li>・来学に要する費用は契約金額に含まれている。また、作業員は松江市内の営業所から来るようになっており、対応は迅速である。</li> </ul>
---	--

<p><b>3) 病院情報管理システム 一式</b>  <b>【一般競争入札（総合評価方式）】</b>  <b>（医学部会計課）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札経過において、導入説明会→資料提供招請→意見招請と段階が進むごとに参加業者が減っているが、どのような経緯か。</li> <li>・ 資料「入札経過」欄（1）において、本体価格はどのように算出したのか。その妥当性をどうやって評価したのか。</li> <li>・ さらに競争性を確保する必要がある。</li> <li>・ 総額で約 30 億円という大型の契約でもあり、入札業者以外からも資料を徴取すべきであったのではないか。</li> <li>・ 他機関の調達実績を得ることはできなかったのか。</li> <li>・ 他メーカーからの調達実績を他機関に照会してはどうか。</li> <li>・ リースではなく買取りにすることも検討していく必要があるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入説明会等には、契約相手方となった業者に加え、部門システムのメーカーも参加していたが、最終的な入札に参加したのは入札参加資格のある 1 者となった。</li> <li>・ 応札業者から、買取りの場合の定価証明書及び参考見積書を徴取した。他機関での実績も調査し、妥当性を評価した。</li> <li>・ 電子カルテシステムと医事会計システムを基幹に多数の部門システムを統合したパッケージになっており、データ移行の問題等もあるため、多数の業者が参入しづらい状況である。</li> <li>・ 試みたが、得ることができなかった。</li> <li>・ 同メーカーの実績がある機関から回答を得た。</li> <li>・ 仮に他メーカーからの調達実績を得られたとしても、本件において活用することは難しい。</li> <li>・ 5 年のリース契約で総額約 30 億円の契約であり、一括での支払いは難しい。</li> </ul>
--	--

<p><b>4) MRI 検査委託業務</b></p> <p style="text-align: center;"><b>【随意契約】</b> <b>(医学部会計課)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月間の利用実績はどのぐらいか。</li> <li>・契約事務取扱規程第 26 条第 1 項に定める随意契約の要件のうち本件に該当するものはどれか。</li> <li>・予定価格の算出において、診療報酬は考慮しているか。</li> <li>・利益相反のおそれはないか。</li> <li>・他の医療機関で対応可能なところはないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 100 件程度である。</li> <li>・「契約の性質若しくは目的が競争を許さない場合」である。</li> <li>・ している。</li> <li>・ ない。</li> <li>・ 患者の利便性を考え、対応可能な医療機関のうち本院に最も近いところとした。</li> </ul>
<p><b>5) 透過型電子顕微鏡 一式</b></p> <p style="text-align: center;"><b>【一般競争入札 (最低価格方式)】</b> <b>(経理・調達課)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約した物品の製造業者以外にも透過型電子顕微鏡を製造しているメーカーはあるのか。</li> <li>・ 入札経過において、「入札関係書類受領者」より「提案書等申込者」が少なくなっているが、原因は何か。</li> <li>・ 1 者からの入札となる場合、不当に割高な価格となるようなことはないか。</li> <li>・ 調達予定概算額は、大学が独自に決定したのか。概算額が基準額を上回ったため、義務付けられた手続である資料提供招請及び意見招請を行ったということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ある。</li> <li>・ 仕様については広く入札参加が可能なものであったが、メーカー標準品のみでは仕様を満たせず、カスタマイズ等が必要となることから辞退されたのではないか。</li> <li>・ 本件の入札書は事前提出であることから、参加者は他者との競合を想定し入札するので、割高な金額をもって入札するという事は考えにくい。</li> <li>・ 市場調査を行い、その結果に基づいて決定したものである。手続についてはそのとおりである。</li> </ul>

<p><b>6) 島根大学教育学部附属学校園における常駐警備業務 一式</b></p> <p>【一般競争入札（最低価格方式）】 （経理・調達課）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 前回の契約の相手方はどこか。</li><li>・ 前回の契約単価はいくらか。</li><li>・ 入札経過において、入札関係書類受領者数より提案書等申込者数が減少した理由はどのあたりにあると考えるか。</li><li>・ 附属学校園における機械警備の契約の相手先と異なっても支障はないか。</li></ul> <p><b>7) その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 病院情報管理システムの調達については、総額で約 30 億円という大型の契約であり、競争性を確保すべく、複数のメーカーの資料を徴取し、参酌するよう努めるべきであった。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 今回と同じである。</li><li>・ 日額 22,880 円（税込）である。</li><li>・ 不参加となった業者に理由を確認したところ、1 日当たり 8 時間×年間 213 日×2 年間という条件で人員を確保するのが難しいため、とのことであつた。</li><li>・ 特に支障はない。</li></ul>
---	---